

# 寅さん歩 その22

## 東京2020 聖火リレー

### ～島根県・広島県・ 岡山県・鳥取県～



写真右上は東京2020オリンピックの聖火リレーのトーチを掲げる平野寅次郎こと平野武宏です。全国のウォーキング大会を映画「男はつらいよ」の寅さんのように歩き回ったので妻の友人から「平野寅次郎」と命名され、ペンネームとしています。右上の写真は都庁でのトーチ公開時に撮影しました。パラリンピックのトーチも色違いであります。

東京2020大会の聖火は2020年3月26日に福島県をスタートし、移動日を含む121日をかけて47都道府県を回り、7月24日の開会式会場に到着します。

なお、2019年11月30日に完成した「新国立競技場」は2019年12月15日の竣工式を終え、「国立競技場」と呼ばれます。

寅次郎、八柳修之さん作成の「バーチャルウォークで沖縄から新国立競技場へ聖火を運ぶ（仮想コース）」を行い、通過した都道府県の寅次郎のウォークの思い出と映画「男はつらいよ」で寅さんの恋の記録をお話ししました。

映画「男はつらいよ」は第1作の公開[1969年(昭和44年)8月27日]から50周年となり、記念して2019年(令和元年)12月27日に第50作「男はつらいよ お帰り寅さん」が公開されました。寅さん役の渥美清さんは1996年(平成8年)に亡くなっていますが、今までの作品の寅さんが技術を駆使して登場とのこと。

「寅さん歩」も映画の50周年を祝って一足早く全国の聖火リレーのコースを紹介しながら、前回のバーチャルウォークで通過しなかった道県での寅次郎のウォークの思い出と寅さんの恋をお話したいと思います。各県名の脇の月日は実際に聖火リレーが行われる月日で、コースはスタートとゴールの予定地です。なお、2019年12月17日聖火リレーの詳細が発表されました。

〔島根県〕 2020年5月16日～17日

聖火リレーコースは5月16日 津和野町～邑南町、17日 大田市～松江市で

出雲市、隠岐の島町も通過します。

寅次郎、2002年（平成14年）5月「斐川町一周ウォーク」で出雲路に登場しています。1日目は42.195kmに初挑戦です（当時59歳）。この大会は出雲市の隣の斐川町で開催された町を挙げてのウォーキング大会で、14・17・23・28kmのチェックポイントでバスに乗ることも可です。強い日差しの中、日本昔話を感じさせる山と川の風景、コースの途中ではゆでた筍、山菜、宍道湖のしじみ汁のサービスに大感激です。田圃の中には日本三美人の湯「湯の川温泉」がありましたが、残りの二つの美人の湯はどこかわからずじまい。マラソン大会のようにゴールには大きな時計があり、寅次郎の所要時間は7時間50分でした。参加記念品は出西窯（しゅさいがま）干支入り湯呑です。夕方の斐川町・出雲市合同のウエルカムパーティでは島根ワイン、出雲そば、寿司他盛り沢山のご馳走と、本場安来節と平均年齢21歳のギャルダンスで大歓迎を受けました。NHKBS放送の大会取材で俳優のあおい輝彦がインタビュー役でパーティに参加していました。

2日目は「第2回出雲路一周ウォーク」に参加。世界最大級の木造出雲ドームがスタート・ゴール。30km予定でスタートしましたが、雨が降り出し、20kmコースに変更。臨機応変の決断が長続きの秘訣です。出雲大社（写真右）は縁結びと福の神なので若いカップルが目につきました。島根ワイナリーではワインの試飲をして、残りの距離を鼻歌まじりで歩きました。ゴール後は会場内の温泉での入浴サービスがありました。完歩賞は出雲神話原水のボトルです。その後は出雲市駅からJRに乗り、翌日のウォーキング大会開催地の鳥取県倉吉に向かいました。



映画の寅さん、1974年（昭和49年）8月公開の第13作「男はつらいよ 寅次郎恋やつれ」で温泉津、津和野に現れています。

寅さん、旅先の温泉津で出会った夫が蒸発した絹代（高田敏江）との結婚を勝手に決意します。柴又に戻り状況を報告した寅さん、大阪出張予定のあるタコ社長と妹さくらを連れて温泉津に行きますが、絹代から夫が帰って来たこと聞き、傷心の旅へ。津和野では2年前に出会った片想いの歌子（吉永小百合）と再会。



結婚して幸せに暮らしていると思っ

していると聞きました。でも彼女に何もしてあげられない寅さん、「何かあれば柴又へ」と言うのが精いっぱい胸を焦がし、やつれた姿で柴又へ戻ります。柴又に来た歌子と結婚に反対だった父との仲を取り持ちます。とらやに来た父と歌子の味わいのある会話は泣かせます。寅さんも店の陰でもらい泣き。歌子は伊豆大島の障害者施設に就職を希望して向かいます。歌子を生涯見守ろうと勝手に決めていた寅さん、また失意の旅へ。旅先の海岸で幸せそうな絹代一家と再会して幕です。聖火は広島県へ引き継がれます。

### 〔広島県〕 2020年5月18日～19日

聖火リレーコースは5月18日 三次市～広島市、19日 廿日市市～福山市で尾道市も通過します。

広島県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー9」をご参照ください。

聖火は岡山県へ引き継がれます。

### 〔岡山県〕 2020年5月20日～21日

聖火リレーコースは5月20日 井原市～岡山市、21日 玉野市～津山市です。

岡山県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー10」をご参照ください。

聖火は鳥取県へ引き継がれます。

### 〔鳥取県〕 2020年5月22日～23日

聖火リレーコースは5月22日 境港市～倉吉市、23日 琴浦町～鳥取市です。

寅次郎、2002年（平成14年）5月島根県出雲のウォークから倉吉に来て、

「第2回日本海未来ツデーマーチ」に参加しています。

大会1日目は日本海を目指して歩く「天女コース」です。倉吉市パーク スクエアふれあい広場がスタート・ゴール。途中では霧に包まれた東郷湖畔の中国庭園 燕趙園（えんちょうえん）を見学、中国河北省との友好のシンボルとして作られました。泊では翌年春に開通予定の山陰自動車道がコースで開放され

歩かせてもらいました。高速道路上からの日本海の眺めは最高でした。いちご・なしのビニールハウスを見ながらゴール。給水ポイントでは小さな子供が走ってきて水を渡されるサービスがありました。

2日目は大山を目指して歩く「打吹コース」で秀峰大山を見ながら関金方面に向かい、県立農業大学校が折り返しです。

その日の給水ポイントでは中学生によるブラスバンドの歓迎がありました。昼食地点の農業大学校の学生が作ったトン汁はプロ級の味でした。手作りのアイスクリームのデザートはおかわり自由。倉吉の白壁土蔵群・赤瓦を見ながら、のどかな田園地帯を歩きました。ゴールでは完歩賞の番号で抽選会があり、花鉢が当りました。町を挙げての暖かい歓迎やボランティアの中学生の声援は例会では味わえない体験でした。映画の寅さんのような一人のマドンナではなく、全国の歩友や地元の方々との出会い・ふれあい・再会が盛り沢山あった島根・鳥取のフォーデーウォークでした。

帰りはゴールデンウィーク明けの仕事を配慮して鳥取空港から羽田へ1時間の空旅でした。

映画の寅さん、1991年(平成3年)12月公開の第44作「男はつらいよ 寅次郎の告白」で倉吉と鳥取砂丘を訪れています。

本作は旅先で川を見て故郷への思いを告白する寅さんの言葉で始まります。満男が想いを寄せる泉(後藤久美子)が銀座の楽器屋に就職を希望して名古屋から上京、寅さんも柴又に戻り、とらや一家との楽しいひと時を過ごします。

会社訪問に付き添う満男ですが、採用はうまくいかず泉は名古屋へ帰ります。寅さんもまた旅へ。

泉 母親の再婚話で家出。泉から鳥取にいるとの手紙をもらった満男も鳥取へ行きます。泉と寅さんは偶然に出会い、泉を待つ満男と鳥取砂丘で再会します。三人で寅さんの昔の

恋人 聖子(吉田日出子)の割烹旅館で一夜を過ごします。寅さんをふって二枚目の板前と結婚した聖子は既に未亡人で結婚生活は幸せでなかったと告白。

寅さん、聖子に言い寄られますが、満男の邪魔で救われます。

泉、この旅での体験で母の幸せを祝福する気持ちになります。

満男、帰りの電車の中で泉の手を握りますが、無様な恋の進め方に

「寅さんを笑えない」と反省。出演者それぞれが告白する言葉が面白いです。



聖火は兵庫県へ引き継がれます。

平野 寅次郎 拝